

課外講習の第2期のお知らせ(高Ⅲ)

鷗友教育研究所 担当：中村達幸

第2期課外講習は、以下の要領で行われます。内容等をよく読んで希望する人は申し込んで下さい。

【開設講座】	曜日・時間	講座名
	月曜日 7・8時間目	5. Ⅲ・スーパー英作文
	火曜日 7・8時間目	6. Ⅲ・文法で極める英文解釈
	水曜日 7・8時間目	7. Ⅲ・入試対策古文
	木曜日 7・8時間目	8. Ⅲ・数学
	金曜日 7・8時間目	(9. Ⅲ・現代文) ※申し込みは終了

※ 主に予備校等で授業をしている先生が担当します。

【授業内容】主に大学入試問題等を使用した演習。1クール 100分授業×7回

【日程予定】第2クール：9月～11月

3年2期	1	2	3	4	5	6	7
月	9月5日	9月12日	9月26日	10月3日	10月24日	10月31日	11月7日
火	9月6日	9月13日	9月20日	9月27日	10月25日	11月1日	11月8日
水	9月7日	9月14日	9月21日	10月5日	10月26日	11月2日	11月9日
木	9月8日	9月15日	9月22日	9月29日	10月20日	10月27日	11月10日
金(夏前)		9月30日		10月28日			
金(第2期)	9月9日		10月21日		11月4日	11月11日	1月

※ 新型コロナのまん延状況によっては、遠隔授業（YouTube 配信）になることがあります。

【講座内容と講師】

5. Ⅲ・スーパー英作文 月曜

【講師】白石富男

【講座内容】第一期に引き続き、次の内容で授業を行います。第一期受講生だけでなく、English writingの基礎を確認したい人、使える文法・語法・表現のパラエティーを増やしたい人は、ぜひ受講してください。

内容は以下の通りです。

1. 和文英訳の入試問題演習

難関私大や国公立の数行にわたる問題の割合が増え、第一期より少し難しくなります。

和文英訳またはwritingに必要な文法語法項目について詳しい解説も行います。

2. 自由英作文演習

希望者のみ。基本的には、授業で提示された課題を次の授業までに完成させ提出、添削結果をその次の授業で返却、という形になります。

ただし、受講者数や授業方法（対面かリモートか）によって変わる可能性もあります。詳細は初回の授業でお知らせします

3. 確認テスト

6. Ⅲ・文法で極める英文解釈—入試英文解釈の総仕上げ— 火曜

【講師】 武谷武志

【講座内容】 第2期の講座では、2つテーマを設定します。

ひとつめは、実際の入試読解問題の演習です。様々な形式の読解問題を扱い、どのような問題形式であっても点が取れるようになる実践的な力を養います。また内容的にもできるだけ近年の入試問題で素材とされやすいテーマを選び、テーマによる苦手意識の克服を目指します。テーマに馴染みがあれば、それだけで難度の高い長文もかなりの程度読みやすくなるためです。

ふたつめは、英文解釈の盲点となる倒置・挿入・省略・共通表現といった、普通の英文解釈学習では主題的に扱われることの少ない通常英文の変形パターンの習得です。難度の高い英文は修辞技法上、通常の英文パターンに変形を加えることで修辞効果を演出することが多くなります。入試において難度の高い設問として選ばれる英文箇所はどうしても、こういった修辞技法を使用した部分が多くなってしまいます。このような一見すると複雑怪奇で「非文法的」な英文箇所を意識的に主題化し、「文法的」な読解の枠内に入れ、統一的に理解し整理することで英文解釈の盲点を克服することが目標です。

第2期からの受講でも問題ありません。この講座を通じて、どのような英文であっても自信をもって読み解ける本当の読解力を身に付けてください。

7. Ⅲ・入試対策古文 水曜

【講師】 百瀬陽平

【講座内容】 時代やジャンルを問わない大学入試古文のオールラウンダーを目指しましょう。具体的には受講生アンケートに基づき志望校の傾向に照準を定め、「共通テスト」対策、国公立の大学別、あるいは学部別の対策になります。例年、希望者には予想問題や添削問題に取り組んでもらっています。限られた時間の中で最大限の効果を上げるための方法と情報を提供するので、ひるむことなく突き進んでください。

8. Ⅲ・高3数学 木曜

【講師】 宮内 正

【講座内容】 単元の壁を取り払い、融合問題に取り組めます。可能であれば各单元ごとに、共通テスト形式の内容を取り入れながら、共通テスト対策も同時に行います。

第1回 整数①

第2回 整数②

第3回 平面図形

第4回 三角関数

第5回 微分積分①

第6回 微分積分②

第7回 総合演習

(9. Ⅲ・現代文演習 金曜)

この講座はすでに申し込みが終了しています。

【申し込み方法】

1. 受講料を振り込む

受講料 各講座とも全7回で、8,400円。

振り込みには2つの方法がありますが、Aのネットでの振り込みをお勧めします。どちらの方法でも振り込み時に手数料がかかります。

A 銀行などの金融機関からネットバンキングで振り込む

〈参照〉https://www.jp-bank.japanpost.jp/kojin/sokin/furikomi/kouza/kj_sk_fm_kz_1.html

銀行名: ゆうちょ銀行 (金融機関コード: 9900 店番: 019)

店名(支店名): 0一九店(ゼロイチキュー店) 預金種目: 当座 口座番号: 0615705

メッセージ欄がある場合は、「生徒の学年・クラス・番号・氏名」をお書き下さい。

B お近くの郵便局で、郵便振替で払い込む

郵便振替用紙(郵便局にあります)に必要な事項を記入して、窓口で払い込む。

口座番号 00130-7-615705
↑ 1マス分空白

加入者名 鷗友教育研究所

金額 (講習料)円

通信欄 「受講する講座名」(略称でよい)、「生徒の学年・クラス・番号・氏名」を記入

ご依頼人 依頼人の住所・氏名(保護者名でも生徒名でも可)を記入

※ 振り込みの半券は領収書としてご自身で保存しておいてください。

2. 下の Google Forms に必要事項を入力して送信する。

<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSeOxnpMWYfndPXgVtBZnXCqhh03UuWbr4OURDvGwYTEnlS73w/viewform>

締め切りは7月22日(金、前期終業式)

【備考】

- ・1回の振り込みあるいは1枚の振替用紙で複数講座の入金をしても結構です。
- ・既に申し込んである人は今回申し込む必要はありません。申し込んであるかどうか分からない人は下のURL(合同会社のホームページ)で確かめてください。

<https://www.ohyu-llc.com/>

- ・質問あるいは締め切りに間に合わなかった場合はメールで問い合わせをしてください

→kyoikuken@ohyu.ed.jp